

## 【学校短信】

# 農場施設の改修進む ～第3棟耐震工事，肉加工室の改修及び西圃場の整備～

## 岡山県立高松農業高等学校

平成15・16年度の第2棟（教室棟）耐震工事に引き続き，本年度は第3棟実験実習棟及び平山果樹園実習棟の耐震工事が行われました。教室棟の工事に比べて一部の補強工事であるため工期が短縮されたのですが，専門科目の実験実習室や更衣室の移動など学習面での工夫が必要でした。本校の耐震工事は，来年度以降も寄宿舍をはじめ生徒会館，第1棟（本館）と続きます。

本校の畜産加工関係施設（乳加工・肉加工）は昭和59年度に新築されて以来，一部改修は行われましたが老朽化が進み，実習にも支障が出る状態でした。平成23年度に産業教育設備整備事業として肉加工室の改修を行い，長年の懸案事項であった営業許可も平成24年度に取得しました。農業の6次産業化が進められている昨今，畜産分野でも経営改善の手段として加工施設の整備が重要です。農業高校の生産物や加工品は地域の方々から信頼され愛されています。だからこそ，安全を第一にした食料の生産現場としての責任が農業高校にも求められています。

生徒にも営業許可の意義と食品衛生の重要性を学ばせなければなりません。昨年度からの2年間にわたる肉加工施設の整備・改修や営業許可取得は，新学習指導要領において教科「農業」の目指す規範意識や倫理観の育成にも沿っており，食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解させるためにも大きな効果が期待されます。

本校の農業科学基礎等における露地栽培の実習は，校内西南にある27aの露地圃場で行っています。この圃場は排水が非常に悪く，大雨が降るたびに数日間は水溜まりができて実習困難となり，学習活動に支障がでていました。今までに，何度となく職員による排水工事を試みましたが解決しませんでした。今年度は，西圃場の2/3を占める南側の圃場に排水溝と自動排水ポンプを付けた貯水升を設け，雨水を用水路に排水できるようにしました。今回の工事により圃場内の排水問題は一挙に解決し，実習も順調に進んでいます。来年度は，西圃場北側部分の整備を計画しています。



写真1 肉加工室内部の様子  
左：排水溝の改修 右：天井・照明の改修



写真2 西圃場の排水整備  
左：排水溝と貯水升（高さ1mの安全柵で囲む）  
右：貯水升の内部（自然排水・自動排水の両用）